

第2学年 国語科 年間計画

学期	単元	教材名	教材を通して身につけたい力
1 学期	広がる学びへ	「見えないだけ」	・詩を読み、作者の思いを読み取ることができる。 ・詩の内容や表現技法がわかる。 ・声の大きさや速さ、強弱などに注意して朗読することができる。
		「アйсプラネット」	・情景描写に着目し、人物の気持ちを読み取ることができる。 ・登場人物の心の通い合いをとらえることができる。
		「枕草子」	・作者のものの見方や感じ方を理解し、朗読することができる。
		熟語の構成	・熟語の構成のきまりを理解することができる。
	多様な視点から	「生物が記録する科学ーバイオロギングの可能性」	・文章の構成や事実と考え方の示し方に着目し、説明の仕方の特徴を捉えることができる。 ・内容的に正確に捉え、ものの見方や考え方を広げることができる。
		魅力的な提案をしよう	・プレゼンテーションについて理解することができる。
		類義語・対義語・多義語	・類義語などを理解し、言葉の幅を広げることができる。
	言葉と向き合う	・新しい短歌のために ・短歌を味わう	・短歌について理解し、情景や心情を読み、味わい親しむことができる。
		文法①	・自立語の品詞を区別することができる。
	2 学期	関わりの中で	「盆土産」
「字のない葉書」			・優れた文学表現から、筆者の思いを読み取ることができる。
敬語			・適切な敬語の使い方を理解し、言語生活に生かすことができる。
気持ちを込めて書こう			・相手や目的に応じた手紙を書くことができる。
「モアイは語る」			・文章構成や論の展開から、筆者の主張を捉えることができる。 ・筆者のものの見方や考え方について考えることができる。
同じ訓・同じ音をもつ漢字			・文脈に応じて漢字を使い分けすることができる。
いにしへの心を訪ねる		「平家物語」 「扇の的」	・仮名遣いに注意して読み、響きや調子を楽しむことができる。 ・文語文の表現や当時の考え方を理解することができる。
		「仁和寺にある法師」 ー「徒然草」から	・登場人物の行動に着目し、作者のものの見方や考え方を理解することができる。
		漢詩の風景	・漢詩特有の調子を読み味わい、情景や心情を想像することができる。
論理を捉えて		「君は『最後の晩餐』を知っているか」	・評論を読み、ものの見方や考え方を広げることができる。
		話し合って考えを広げよう	・パネルディスカッションを理解することができる。
		「落葉松」	・文語定型詩を読み味わうことができる。
		文法②走る。走らない。走ろうよ。	・用言の活用を理解することができる。
		「小さな町のラジオ発」	・災害時における情報の大切さを知り、考えることができる。
		「メディアと上手に付き合うために」	・メディアとの付き合い方について自分の考えを持つことができる。
言葉と向き合う		言葉を比べよう	・言葉の微妙な違いを意識して使い分けすることができる。
		言葉の力	・筆者の考えを読み取り、自分の考えを深めることができる。
		書写 毛筆	・行書と行書に調和する仮名を書くことができる。
3 学期	自分をみつめる	「走れメロス」	・会話や描写に着目して人物像の変化を捉え、登場人物の行動や考え方について自分の考えをもつことができる。
		方言と共通語	・方言と共通語のよさを知り、言語生活に生かすことができる。
		「科学はあなたの中にある」	・事例と筆者の主張との関係を考えて、読み深めることができる。
		文法③	・付属語を理解する。
		送り仮名	・送り仮名の原則を理解し、通則に従った表記ができる。
		一年間の学びを振り返ろう	・資料などを活用し、自分の考えの要点を説明することができる。
通年	帰り学活前の10分間で、既習事項の確認を行い、基礎的事項の習熟を図る。		

学習の進め方

I 学校での学習

1. 忘れ物をせず、授業に必要なものは机の上に出して準備しておく。
2. 授業に積極的に参加する。(話し合い活動や挙手などに取り組む。)
3. わからないことをすぐに人に聞くのではなく、自分で考えて自分の言葉で言えるようにする。
4. ノートは、黒板を写すだけでなく、先生の話で重要だと思ったことや参考になる友達の意見も書いていく。

II 家庭での学習

1. 復習を中心に学習する。→ その日に習ったことはその日のうちに理解する。
 - ・教科書の文章や問題をよく読む。
 - ・授業のノートやメモ、プリント等を見る。
 - ・問題練習・・・国語のワーク、漢字のワークをする。
2. 宿題は必ず行う。
3. 少しずつでも毎日勉強する。(音読、漢字練習等) 国語辞典、漢和辞典と仲良くなる。
4. 授業内容に関連した本を読む。

第2学年 社会科 年間計画

学期	単元	学習内容	学習内容を通して身につけたい力
1 学期	地理的分野 第2部 日本のさまざまな地域 1章 日本の姿 2章 世界と比べた日本の地域的特色	1節 世界の中での日本の位置 2節 時差でとらえる日本の位置 3節 日本の範囲 4節 都道府県と地域区分 5節 さまざまな地域区分と略地図 1節 自然環境の特色 2節 人口の特色 3節 資源や産業の特色 4節 地域間の結びつきの特色	地球儀や地図を活用して、世界から見た国土の位置と領域に関する特色を多面的・多角的に追求することができる。 日本地図を活用して、都道府県の位置と名称や日本の地域区分を捉えることができる。 世界の地形や気候と日本の地形や気候を資料から調べ、世界の中の日本の特色を考え、理解できる。 世界の人口分布の特色と日本の人口分布の特色を資料から調べ、それぞれの変化を理解することができる。 世界の中の日本の人口の特色を考え、理解することができる。 世界のエネルギー・鉱山資源の現状を調べ、理解することができる。 日本のエネルギー・鉱山資源の現状から、日本の産業について考え、理解することができる。 世界と日本の交通・通信を調べ、理解することができる。 日本の交通・通信の特色を考え、理解することができる。
	3章 日本の諸地域 歴史的分野 4章 近世の日本	1節 九州地方 2節 中国・四国地方 3節 近畿地方 4節 中部地方 5節 関東地方 6節 東北地方 7節 北海道地方 2節 江戸幕府の成立と鎖国 1 江戸幕府の成立と支配のしくみ 2 さまざまな身分とくらし 3 貿易の振興から鎖国へ 4 鎖国化の対外関係 3節 産業の発達と幕府政治の動き 1 農業や諸産業の発達 2 都市の繁栄と元禄文化 3 享保の改革と社会の変化 4 田沼の政治と寛政の改革 5 新しい学問と化政文化 6 外国船の出現と天保の改革	日本の諸地域の地域的特色に対する関心を高め、追究し、とらえることができる。 日本の諸地域の地域的特色を、自然環境、歴史的背景、産業、環境問題や環境保全、人口や都市・村落、生活・文化、他地域との結びつきのいずれかを中核とした考察の仕方をもとに考察し、その過程や結果を表現することができる。 日本の諸地域の地域的特色に関する資料を収集し、情報を選択して、読み取ったりまとめたりすることができる。 江戸幕府が成立した過程と支配の仕組みについて理解することができる。 江戸時代の身分制度について理解し、厳しい差別があったことを知ることができる。 日本が鎖国政策をとるまでの過程と鎖国政策について理解することができる。 鎖国化でも交流のあった国々との対外政策について理解することができる。 三都をはじめ、都市の発達の理由とこの時期の文化の特色を理解することができる。 幕府政治の改革が必要になった理由を貨幣経済の広がりから考えることができる。 田沼・松平の政治を比較し理解し、外国の接近への外交政策を理解することができる。 化政文化の特色を調べ、教育への関心が高まってきたことを理解することができる。 幕府の外交政策と、天保の改革など幕府政治の変化を考えることができる。

3 学 期	5章 開国と近代日本の歩み	1節 欧米の進出と日本の開国 1 近代革命の時代 2 産業革命と欧米諸国 3 ヨーロッパのアジア侵略 4 開国と不平等条約 5 江戸幕府の滅亡 2節 明治維新 1 新政府の成立 2 維新の三大改革 3 世界とつながる日本と文明開化 4 岩倉使節団と殖産興業 5 近代的な国際関係 6 自由民権運動の高まり 7 立憲制国家の成立 3節 日清日露戦争と近代産業 1 欧米列強の侵略と条約改正 2 日清戦争 3 日露戦争 4 韓国と中国 5 産業革命の進展 6 近代文化の形成	欧米の近代革命を通し、近代国家を形成していった過程を理解することができる。 産業革命を経て、経済の仕組みや社会が大きく変化したことを理解することができる。 イギリスを中心にヨーロッパがアジア侵略を進めた過程を理解することができる。 開国・通商の過程、内容を調べ、どのような影響があったか理解することができる。 幕府滅亡の経緯を理解することができる。 新政府の政治の、中央集権国家の体制確立への経緯と内容を理解することができる。 新政府の富国強兵政策の具体的内容と影響を理解することができる。 新政府の近代化政策の内容から文明開化による影響を理解することができる。 新政府の外交政策と日本の領土について理解することができる。 新政府の政治の不满から民権運動や士族の反乱への過程を理解することができる。 政党の結成や憲法の成立の過程を理解し、その影響を理解することができる。 日清戦争にいたるまでの背景として欧米諸国の植民地獲得競争に気付き、東アジアの情勢を理解することができる。 日清戦争の原因と結果、その後の日本内外の情勢を理解することができる。 アジアでのロシアやイギリスの動向と日本との関係に着目し、日露戦争の原因と結果、その影響について理解することができる。 韓国の植民地化の進展のあらましを理解することができる。 辛亥革命の発生や、列強の支配と中国国内の民族的自覚の高まりに気付くことができる。 産業革命によって、都市や農山魚村の生活が大きく変化したことを理解することができる。 近代文化が形成されたことを、学問や科学技術で国際的な業績が生まれたことから理解することができる。
	通年	帰り学活前の10分間で既習事項の確認を行い、基礎的事項の習熟をはかる。	

学習の進め方

I 学校での学習

1. 準備物がそろっている。
2. 先生の話をしっかり聞く。
学習内容を説明しているとき、活動内容の指示を出している時、課題の説明をしている時など、集中して聞く。
3. 調べ学習やグループ活動、課題に取り組んでいるときなどは、分からないことがあればその時に積極的に質問し解決に努める。
4. 「わからないところ」をわからないままにせず、先生や友だちに質問をする。

II 家庭での学習

1. 復習を中心に学習する。 → その日習ったことをその日に理解する。
・その日習った部分のワークの問題に取り組む。
・教科書とノートを見直し、自分の意見や考えをまとめる(ポイント整理)。
2. 次の授業に備えて、教科書を1度読んでおく。

第2学年 数学科 年間計画

学期	単元	学習内容	学習内容を通して身につけたい力
1 学 期	7章 箱ひげ図とデータの活用	1. データの分析と問題解決 § 1. 箱ひげ図 § 2. データを活用して問題解決しよう	<ul style="list-style-type: none"> 箱ひげ図のかき方を理解する。 データを箱ひげ図に表したり、ヒストグラムに表したりして、問題解決できる。
	1章 式の計算	1. 式の計算 § 1. 式の加法、減法 § 2. いろいろな多項式の計算 § 3. 単項式の乗法、除法 2. 文字式の利用 § 1. 文字式の利用	<ul style="list-style-type: none"> 多項式の加法・減法の計算ができる。 乗法・除法の計算をしたり式の値を求めたりすることができる。 単項式どうしの乗法・除法の計算ができる。 数量の関係や数の性質を文字を用いた式に表して考察することができる。 目的に応じて、等式を変形することができる。
	2章 連立方程式	1. 連立方程式 § 1. 連立方程式とその解 § 2. 連立方程式の解き方 2. 連立方程式の利用 § 1. 連立方程式の利用	<ul style="list-style-type: none"> 二元一次方程式とその解、連立方程式とその解などの意味を理解することができる。 加減法や代入法によって連立方程式を解くことができる。 連立方程式を利用して、簡単な問題を解決することができる。
	6章 確率	1. 確率の意味 § 1. 起こりやすさと確率 2. 場合の数と確率 § 1. 確率の求め方 § 2. いろいろな確率	<ul style="list-style-type: none"> 確率の意味や必要性を理解することができる。 簡単な場合について、確率を求めることができる。 確率の求め方について説明することができる。
2 学 期	3章 一次関数	1. 一次関数とグラフ § 1. 一次関数 § 2. 一次関数の値の変化 § 3. 一次関数のグラフ § 4. 一次関数の式を 求めること 2. 一次関数と方程式 § 1. 方程式とグラフ § 2. 連立方程式とグラフ 3. 一次関数の利用 § 1. 一次関数の利用	<ul style="list-style-type: none"> 一次関数の関係を式で表すことができる。 一次関数の変化の割合を求めることができる。 一次関数のグラフをかくことができる。 一次関数の式を、グラフ、傾きと1点、2点からそれぞれ求めることができる。 二元一次方程式のグラフをかくことができる。 2直線の交点の座標を、連立方程式を使って求めることができる。 事象を一次関数とみて考察することで、問題を解決することができる。
	4章 図形の調べ方	1. 平行と合同 § 1. 角と平行線 § 2. 多角形の角 § 3. 三角形の合同 2. 証明 § 1. 証明とそのしくみ § 2. 証明の進め方	<ul style="list-style-type: none"> 対頂角、同位角、錯角の大きさを求めることができる。 三角形の内角や外角、多角形の内角の和・外角の和などを求めることができる。 2つの三角形が合同かどうかを、合同条件を用いて考察することができる。 三角形の合同条件を用いる簡単な場合について、証明のすじ道を理解できる。 三角形の合同条件を使って証明する手順を考えることができる。
3 学 期	5章 図形の性質と証明	1. 三角形 § 1. 二等辺三角形 § 2. 直角三角形の合同 2. 四角形 § 1. 平行四辺形の性質 § 2. 平行四辺形になる条件 § 3. 長方形、ひし形、正方形 § 4. 平行線と面積	<ul style="list-style-type: none"> 二等辺三角形の性質や他の図形の性質を、証明することを通して考察することができる。 直角三角形の合同条件を使って、証明することができる。 平行四辺形の定義と性質を理解することができる。 平行四辺形になる条件を理解することができる。 長方形、ひし形、正方形が、平行四辺形の特別な場合であるとみることができる。 面積を変えずに、図形の形を変える方法を理解することができる。
通年	帰り学活前の10分間で既習事項の確認を行い、基礎的事項の習熟をはかる。		

学習の進め方

I 学校での学習

<ol style="list-style-type: none"> 忘れ物をしない。 先生の説明や友達が発言をしっかり聞く。 ノートはただ黒板を写すだけでなく、考えながら書いていく。必要に応じてメモを書き加えていく。 自分でしっかり考える。 わからないことがあれば周りの人に質問する。質問されたらていねいに説明する。 「わからないところ」をわからないままにしておかないで、その日のうちに解決する。

II 家庭での学習

<ol style="list-style-type: none"> 復習を中心に学習する。 → その日に習ったことはその日のうちに理解する。 <ul style="list-style-type: none"> 教科書の問題や例題を答えを見ずに解く。 授業中解いた問題をもう一度解く。 問題練習・・・ベーシックマスター・完成問題集の問題を解いてみる。 その日の授業内容をまとめる。 宿題は必ず家で行う。 	}	5行まとめ
---	---	-------

第2学年 理科 年間計画

下記「通年」のらんの「注※」もご覧ください。

学期	単元	学習内容	学習内容を通して身につけたい力
1 学期	【地球】 活きている地球	3章 大地は語る	・地層をつくる岩石の特徴や地層の堆積構造から地層の成り方を推測し、その根拠を説明できる。
	【エネルギー】 電流の性質と その利用	1章 電流の性質	・回路の基本的な性質や電流、電圧との関係について説明できる。 ・実験機器の操作や実験結果の処理の技能を身につける。
		2章 電流の正体	・静電気と電流には関係があること及び電流の正体について説明できる。 ・放射線の性質と利用について説明できる。
		3章 電流と磁界	・電流の磁気作用や電流と磁界との相互作用及び直流と交流の違いについて説明できる。
2 学期	【生命】 動物の生活と 生物の進化	1章 生物の体と細胞	・生物の体が細胞からできていること及び植物と動物の細胞のつくりの特徴を説明できる。
		2章 生命を維持するはたらき	・消化や吸収、血液の循環、不要物の排出の仕組みについて理解し、説明できる。
		3章 感覚と運動のしくみ	・動物が外界の刺激に反応する仕組みを感覚器官、神経系及び運動器官のつくりと関連づけて説明できる。
		4章 動物のなかま	・脊椎動物の体のつくりや子の生まれ方の特徴などを比較、整理し、分類できる。 ・無脊椎動物の特徴を説明できる。
	【物質】 化学変化と 原子・分子	1章 物質の成り立ち	・物質は原子や分子からできていること、分解によって生成した物質から元の物質の成分が推定できる。
		2章 物質を表す記号	・原子や分子のモデルによって物質を説明できる。 ・原子や分子のモデルと関連させながら化学反応式で表すことができる。
		3章 さまざまな化学変化	・化学変化によって、異なる物質が生成することなど、さまざまな化学変化を原子や分子のモデルを用いて説明できる。
		4章 化学変化と物質の質量	・化学変化における質量変化の規則性を理解し、説明できる。
3 学期	【地球】 地球の大気と 天気の変化	1章 空気中の水の変化	・地球上の水はさまざまな状態で存在し、霧、雲、雨や雪はその循環の一部であること及び空気中の水の変化について説明できる。
		2章 天気の変化と 大気の動き	・大気の動きと天気との関係を理解し、日本付近での気団や大気の動き方の規則性と天気の変化について説明できる。 ・圧力は力の大きさや面積に関係があることを説明できる。 ・空気に重さがあることを知り、大気圧と関連づけてとらえることができる。
		3章 大気の動きと 日本の四季	・日本の気象を日本付近の大気の動きや気団の影響に関連づけて説明できる。
		4章 自然の恵みと気象災害	・自然がもたらす恩恵や災害について調べ、これらを多面的、総合的にとらえて、自然と人間のかかわり方について考察できる。
通年	帰り学活前の10分間で既習事項の確認を行い、基礎的事項の習熟をはかる。 ※…今回の休校措置にともない、上記の履修計画は(各分野の履修順序も含めて)変更になることがあります。		

学習の進め方

I 学校での学習

- 授業で行う学習活動に意欲的に参加しよう。
「身のまわりの生物や自然現象から」学び、科学的に考えよう。
「友達の発言」や「お互いの間違い」からも学ぶ気持ちで授業に参加しよう。
実験・観察は考察を重視。結果の内容より結果から考えたことが大切。
準備から片付け、レポート作りまでが実習。

II 家庭での学習

- 復習を中心に学習する。
新しい用語をどんどん使ってみる。知識を確認しあうことが大切。
用語を正しく理解し、学習内容がつかめているか、ワークや教科書の問題をやってみよう。
忘れないように問題練習をくりかえしやってみよう。
※ 復習しやすいようにノートや自主学習ノートを工夫するとよい。
- 科学に関するニュースやTV番組を積極的に見るなどして、正しい科学の知識をふやそう。
夏休みなどテーマを決めてじっくり科学研究や観察・採集に取り組むのもおすすめ。

第2学年 音楽科 年間計画

学期	単元	学習内容	学習内容を通して身につけたい力
1 学期	歌唱	「夢の世界を」 「夏の思い出」	<ul style="list-style-type: none"> ・歌うときの姿勢、口のあけ方や呼吸法を意識して、響きのある声で歌うことができる。 ・音程やリズムが正確にとれ、のびのびと意欲的に表現することができる。 ・音楽の良さや美しさを感じ取り、それらを音楽活動の中で工夫して表現することができる。 ・歌詞の内容や曲想を味わい、声部の役割を考えながら、曲にふさわしい歌唱表現を工夫する。
	鑑賞	「フーガ ト短調」 合唱コンクール自由曲選曲	<ul style="list-style-type: none"> ・曲の仕組みや演奏形態、作曲家についての詳細や、楽曲の歴史的背景を理解し、知識とすることができる。 ・作曲者の意図・心情を感じ取ったり、自分の感じたことをうまくまとめることができる。
2 学期	歌唱	・全校合唱曲(「翼をください」) ・学年合唱曲 ・クラス合唱曲	<ul style="list-style-type: none"> ・歌うときの姿勢や口のあけ方、呼吸法などに気をつけ、響きのある声で歌うことができる。 ・音程やリズムが正確にとれ、のびのびと意欲的に表現することができる。 ・歌詞の内容や曲想を味わい、声部の役割を考えながら、曲にふさわしい歌唱表現を工夫することができる。 ・パートの役割や旋律の重なり方の特徴を感じ取って合唱することができる。 ・仲間と協力して、意欲的に練習に取り組むことができる。 ・他クラスの発表を聴いて、表現の特徴や良い点を聴き取ることができる。
	鑑賞	「交響曲第5番 ハ短調」	<ul style="list-style-type: none"> ・曲の仕組みや演奏形態、作曲家についての詳細や、楽曲の歴史的背景を理解し、知識とすることができる。 ・作曲者の意図・心情を感じ取ったり、自分の感じたことをうまくまとめることができる。
	歌唱	「荒城の月」	<ul style="list-style-type: none"> ・歌うときの姿勢や口のあけ方、呼吸法などに気をつけ、響きのある声で歌うことができる。 ・音程やリズムが正確にとれ、のびのびと意欲的に表現することができる。 ・歌詞の内容や曲想を味わい、声部の役割を考えながら、曲にふさわしい歌唱表現を工夫する。
3 学期	鑑賞	「アイーダ」 「勸進帳」	<ul style="list-style-type: none"> ・オペラに親しみ、その音楽を味わうことができる。 ・オペラの特徴を理解することができる。 ・日本の伝統音楽に親しむことができる。 ・曲の仕組みや演奏形態、作曲家について知り、関心をもって聴くことができる。
	歌唱	「メッセージ」	<ul style="list-style-type: none"> ・歌うときの姿勢や口のあけ方、呼吸法などに気をつけ、響きのある声で歌うことができる。 ・音程やリズムが正確にとれ、のびのびと意欲的に表現することができる。 ・歌詞の内容や曲想を味わい、声部の役割を考えながら、曲にふさわしい歌唱表現を工夫する。

学習の進め方

I 学校での学習

- ・チャイムが鳴るまでに準備物をきちんと持って音楽室に移動し、静かに着席し、落ちついて授業に取り組めるように準備しよう。
- ・楽曲の演奏や練習に意欲的に一生懸命取り組もう。また、顔や身体全体も使って歌おう。
- ・授業中は、教科書や楽譜を開け、どこを演奏しているのかを常に把握しよう。
- ・授業中、楽曲の演奏に関してのアドバイスは、そのつど楽譜に書きとめよう。
- ・記号や語句についての説明は、教科書にチェックして、その場で覚えていこう。

II 家庭での学習

- ・授業で習った楽曲の旋律や歌詞を確認しておこう。
- ・プリント類やワーク、鑑賞曲についてはしっかりと復習しておこう。
- ・授業で習った記号や語句を復習し、しっかりと覚えておこう。

第2学年 美術科 年間計画

学期	単元	学習内容	学習内容を通して身につけたい力
1 学期	絵画	デッサン「スリッパ」	<ul style="list-style-type: none"> 画面の中に、バランスよく描くことができる。 光の方向を理解し、立体的に明暗をつけることができる。 最後まで根気よく丁寧に制作に取り組むことができる。
	版画	版画の種類について 孔版シルクスクリーンでオリジナルTシャツを作ろう	<ul style="list-style-type: none"> 様々な版画の種類や技法、道具について知り、制作につなげることができる。 シルクスクリーンの魅力を感じ取り、いろいろな技法に関心を持ち、すすんで試そうとすることができる。 衣服のデザインに興味を持ち、衣服のデザインとしてアイデアをねることができる。 シルクスクリーンの手法・作業手順を理解し、材料・用具を的確に使用して自分のデザインを表現することができる。
	鑑賞	ポップアートから現代美術	<ul style="list-style-type: none"> 制作方法や工程を理解し、自分の見方や感じ方で作者の心情や制作意図、表現のよさを感じ取ることができる。
2 学期	絵画	デッサン「体育館シューズを描こう」	<ul style="list-style-type: none"> 描写における明暗の表し方や鉛筆の使い方など基礎的な技術を身につけることができる。 画面の中に、バランスよく描くことができる。 光の方向を理解し、立体的に明暗をつけることができる。 最後まで根気よく丁寧に制作に取り組むことができる。
	デザイン	孔版シルクスクリーンでオリジナルTシャツを作ろう 平面構成「透視図法を使って立体的な構成をしよう」	<ul style="list-style-type: none"> シルクスクリーンの魅力を感じ取り、いろいろな技法に関心を持ち、すすんで試そうとすることができる。 衣服のデザインに興味を持ち、衣服のデザインとしてアイデアをねることができる。 シルクスクリーンの手法・作業手順を理解し、材料・用具を的確に使用して自分のデザインを表現することができる。 伝えたい内容を視覚的に印象的に伝える工夫をしようと最後まで取り組み制作することができる。 一点、二点、透視図法・等角投影図について理解し、自分のデザインに効果的に生かすことができる。 資料をもとに効果的な表現を構想することができる。 構成や色彩を工夫し、目的にあった表現が的確にできる。
3 学期	鑑賞	ルネサンス	<ul style="list-style-type: none"> 美術史を理解し、自分の見方や感じ方で作者の心情や制作意図、表現のよさを感じ取ることができる。
	デザイン	平面構成「透視図法を使って立体的な構成をしよう」～完成に向けて	<ul style="list-style-type: none"> ムラなく美しく着色し、最後まで根気よく作品作りに取り組むことができる。
	鑑賞	日本の美術	<ul style="list-style-type: none"> 自分の見方や感じ方で作者の心情や制作意図、表現のよさを感じとることが出来る。 美術作品と時代や社会とのかかわりについて関心をもつことができる。

学習の進め方

I 学校での学習

1. 忘れ物をせず、準備物をきちんと用意し、ゆとりを持って制作に取り組めるようにする。
2. 今日の授業の目標をきちんと意識して、制作したり考えたりする。
3. 集中して授業に取り組み、自分の力を十分に出し切る。
4. 最後まで根気よく丁寧に制作に取り組む。

II 家庭での学習

1. 身近な美術作品に興味を持ち、鑑賞する。
2. テレビや新聞などのメディアから美術に関するさまざまな情報を収集する。
3. 展覧会などに行き、実際に作品にふれる。
4. 授業中に配られたプリントや、資料集を見て復習をする。

第2学年 保健体育科男子 年間計画

学期	単元	学習内容	学習内容を通して身につけたい力
1 学期	集団行動	方向転換 集合・整列 列の増減	集団がまとまって動く意義を理解して、基本的な動作のきまりにしたがう態度を養う。 姿勢、方向転換、集合、整頓、列の増減を正しく行うことができる。
	体づくり運動	力強い動きを高める運動 動きを持続する能力を高める運動 新体力テスト	自分の体力や生活に応じて、周りと協力して運動を行うことができる。 体づくり運動の必要性に気づき、課題に応じた運動をする知識を身につける。
	陸上競技	ハードル走	自己の能力に適した目標記録や課題を設定することができる。 記録向上に向けて課題解決のための練習をすることができる。
	器械運動	跳び箱運動	自分の能力に適した課題をもって、技の習得をめざして粘り強く練習することができる。 仲間と協力して教え合ったり、練習の場を整えたり、補助し合って運動に取り組むことができる。
	保健	健康の成り立ちと病気の発生要因 生活行動・生活習慣と健康 体育理論	病気の発生要因と健康な生活について理解し、自らの生活に活かそうとすることができる。 運動やスポーツの意義や効果を理解できる。
2 学期	球技	ハンドボール	ルールを理解し、ルールに基づいてゲームを楽しむことができる。 チームの特色を活かしてゲームを進めることができる。 チームで作戦を立て、その作戦をゲームで発揮することができる。
	球技	バレーボール	ルールを理解し、ルールに基づいて積極的に楽しむことができる。 サーブ、アンダーハンドパス、オーバーハンドパスなどの基本的な技能をいかして攻防を楽しむことができる。 教えあいや声かけしながら、協力して練習したり準備や片づけをできる。
	球技	ソフトボール	チームや自己の能力に応じた課題をもって運動を行うことができる。 ルールを理解し、ルールに基づいて積極的にゲームを楽しむことができる。 教えあいや声かけしながら、協力して練習したり準備や片づけをできる。
	陸上競技	長距離走(2000m)	全力を出して競争したり、記録を向上させたりする楽しさや喜びを味わおうとすることができる。 自己の能力に適した目標記録や課題を設定することができる。 記録向上に向けて練習をすることができる。
	保健	喫煙、飲酒、薬物乱用と健康 傷害の防止	喫煙、飲酒、薬物乱用の健康への影響を理解する。 地域の生活や環境を振り返り、問題点を見つけるとともに、過去の経験を踏まえて改善策を考えることができる。
3 学期	ダンス	ダンス	思い切り動く、感じを込めて動く、リズムに乗って動く、みんなでかかわりをもって動くなどのダンスの楽しさや喜びを味わおうとすることができる。
	球技	バスケットボール	基本的な技能の習得と、ルールを理解し、積極的にゲームを楽しむことができ 教えあいや声かけしながら、協力して練習したり準備や片づけをすることができる。
	保健	応急手当	応急手当の意義と方法について理解することができる。

学習の進め方

I 学校での学習

1. 忘れ物をしない。すばやく行動し、大きな声を出して取り組む。
2. 説明や指示をきちんと聞き、コツややり方を理解して取り組む。
3. 得意不得意にかかわらず向上心をもって努力する。
4. 仲間と協力して補助や片付け、教えあいを積極的に行う。

II 家庭での学習

1. 自分の課題を意識して、教科書を見直したりできることがあれば練習をする。

第2学年 保健体育科女子 年間計画

学期	単元	学習内容	学習内容を通して身につけたい力
1 学期	集団行動	方向転換 集合・整列 列の増減	集団がまとまって動く意義を理解して、基本的な動作のきまりにしたがう態度を身につける。 姿勢、方向転換、集合、整頓、列の増減を正しく行うことができる。
	体づくり運動	力強い動きを高める運動 新体力テスト	自分の体力や生活に応じて、周りと協力して運動を行うことができる。 体づくり運動の必要性に気づき、課題に応じた運動をする知識を身につける。
	器械運動	跳び箱運動	自分の能力に適した課題をもって、技の習得をめざして粘り強く練習することができる。 仲間と協力して教え合ったり、練習の場を整えたり、補助し合って運動に取り組むことができる。
	陸上競技	ハードル走	全力を出して競争したり、記録を向上させたりする楽しさや喜びを味わおうとすることができる。 自己の能力に適した目標記録や課題を設定することができる。 記録向上に向けて課題解決のための練習をすることができる。
	保健	健康の成り立ちと病気の発生要因 生活行動・生活習慣と健康 体育理論	病気の発生要因と健康な生活について理解し、自らの生活に活かそうとすることができる。 運動やスポーツの意義や効果を理解できる。
2 学期	球技	バレーボール	ルールを理解し、ルールに基づいてバレーボールを楽しむことができる。 サーブ、アンダーハンドパス、オーバーハンドパスなどの基本的な動作をいかして攻防を楽しむことができる。
	球技	サッカー	ルールを理解し、ルールに基づいてサッカーを楽しむことができる。 シュート、ドリブル、リフティングなどの基本的な動作を身につけることができる。
	ダンス	ダンス	思い切り動く、感じを込めて動く、リズムに乗って動く、みんなでかかわりをもって動くなどのダンスの楽しさや喜びを味わおうとすることができる。
	陸上競技	持久走	自己の能力に適した目標記録や課題を設定することができる。 全力を出して競争したり、記録を向上させたりする楽しさや喜びを味わおうとすることができる。 記録向上に向けて練習をすることができる。
	保健	喫煙、飲酒、薬物乱用と健康 傷害の防止	喫煙、飲酒、薬物乱用の健康への影響を理解する。 地域の生活や環境を振り返り、問題点を見つけるとともに、過去の経験をふまえて改善策を考えることができる。
3 学期	球技	ソフトボール	チームや自己の能力に適した課題をもって運動を行うことができる。 ルールを理解し、ルールに基づいて積極的にゲームを楽しむことができる。 教えあいや声かけしながら、協力して練習したり準備や片づけをできる。
	球技	バスケット	ルールを理解し、ルールに基づいて積極的に楽しむことができる。 味方に上手くパスを出したり相手のパスをカットできるなど、周りをよくみて動くことができる。 教えあいや声かけしながら、協力して練習したり準備や片づけをできる。
	武道	剣道	剣道の伝統や特性を理解して、公正な態度で学習することができる。 技の習得だけでなく、仲間や練習相手に敬意をはらって安全に留意して学習することができる。
	保健	応急手当	応急手当の意義と方法について理解することができる。

学習の進め方

I 学校での学習

1. 忘れ物をしない。すばやく行動し、大きな声を出して取り組む。
2. 説明や指示をきちんと聞き、コツややり方を理解して取り組む。
3. 得意、不得意にかかわらず向上心をもって努力する。
4. 仲間と協力して補助や片付け、教えあいを積極的にやる。

II 家庭での学習

1. 自分の課題を意識して、教科書を見直したりできることがあれば練習をする。

第2学年 技術科 年間計画

学期	単元	学習内容	学習内容を通して身につけたい力
1 学期	1章 材料と加工法	材料と加工の技術について知ろう。	身の回りの製品の機能や構造の違いなどを考えることができる。
		材料の特徴・加工法を知ろう。	木材、金属、プラスチックの基本的な性質を調べることができる。また、それぞれの特徴を生かした使用方法を考えることができる。
		製品を丈夫にする方法を知ろう。	部品の組合せや接合の方法などを工夫して、製品を丈夫にする方法を考えることができる。
2 学期	2章 製作品の設計・製作	製作に役立つ製作品を構想しよう。	使用目的や使用条件を即した製作品を設計することができる。 構想の表示方法を知り、製作に必要な図をかくことができる。
		作業手順を考えて製作しよう。 (基礎技能:材料どり・切断・部品加工・組立て・塗装の製作工程の実習)	材料に適したけがきの方法について、考えることができる。
			材料や作業に適した工具を用いて、安全で正確にけがきができる。
			木材の切断に用いる工具と切断の仕組みをまとめることができる。
			木材の切断に用いる工具を安全に使用することができる。
			かんかけずりを適切に行うことができる。
			やすりがけを適切に行うことができる。
			さしがねや直角定規などを使い、部品検査をすることができる。
			仮組み立て時、組み立てる上での問題点や注意点を見つけ修正することができる。
			きりとげんのう、接着剤を用いて、くぎ接合を適切に行うことができる。
塗装の表面処理を換気と安全に配慮して手順どおりに行うことができる。			
3 学期	完成した製作品を評価しよう	完成した製作品を評価しよう	完成した製作品を評価の観点に沿って評価できる。 ものづくりと社会との関連について環境・経済問題も含めて考えることができる。 次のものづくりへの課題を考えることができる。
		3章 プログラムによる計測・制御	計測・制御システムを知ろう。
	プログラムの役割と機能を知ろう。 簡単な計測・制御をしよう。	プログラムを作るための基本的な情報処理の手順を考えることができる。 簡単な相互通信プログラムを作成することができる。	

学習の進め方

I 学校での学習

- ・忘れ物はしない。
- ・先生の指示をよく聞き、安全に実習や作業をすること。
- ・分からないことがあれば、先生に聞き、理解すること。
- ・作品の製作では、絶えず工夫すること、改善点が無いか考えること。

II 家庭での学習

- ・授業で学習したことを、実践しよう。
- ・ものづくりに設計・製図は重要です。家庭でも何度も練習して下さい。
- ・身近な機器がどのように制御されているか興味・関心を持とう。

第2学年 家庭科 年間計画

学期	単元	学習内容	学習内容を通して身につけたい力
1 学期	「衣生活と自立」		
	1. 衣服の働きを考えよう 2. T. P. O. を踏まえた自分らしい着方を工夫しよう 3. 衣服の計画的な活用方法を考えよう 4. 必要な衣服を選択しよう 5. 衣服の手入れをしよう	<ul style="list-style-type: none"> ・衣服の働き、目的に応じた着用 ・個性を生かす服装 ・和服の文化に触れよう ・衣服計画、衣服計画の立て方 ・既製服の選び方 ・既製服の表示、採寸 ・手入れの必要性、繊維や布の性質に応じた手入れ、衣服の汚れ <p>【課題】洗濯機による洗濯、ブラシかけ、ほころび直し、アイロンかけ</p> <p>収納の方法(たたみ方、しまい方)、裁縫ミシンの使い方</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・衣服の社会生活上の働きを説明できる。 ・TPOを踏まえながら、個性を生かした着方を工夫することができる。 ・衣服計画を立てることができる。 ・既製服を選ぶポイントを知る。 ・表示を正しく読み取って、既製服を選ぶことができる。 ・衣服の手入れの必要性が分かる。 ・衣服の材料や状態に応じて、適切な手入れができる。
2 学期	「生活を豊かにするために」	<ul style="list-style-type: none"> ・資源・環境と衣服、資源の有効活用のために ・計測、型紙の選び方、布の選び方、用具の準備と使い方 <p>【実習】ブックカバー</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・環境や資源に配慮した衣生活を送るための課題を見つけることができる。 ・基礎的なミシン縫いや補修の技能を活用して、安全で能率よくバッグを製作できる。
	「幼児の生活と家族」		
3 学期	1. 幼い頃を振り返ろう	<ul style="list-style-type: none"> ・幼いころの夢、幼いころのエピソードを思い出し、自分史づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児に関心を持ち、幼児の生活と家族の学習の流れを把握し、学習の見通しを持つことができる。 ・自分の幼い頃を振り返り、周囲の人との関わりに気づく。
	2. 幼児の体の発達について考えよう	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児の発達と個人差、幼児の体の発達 	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児の体の発達の特徴について理解できる。
	3. 幼児の心の発達について考えよう	<ul style="list-style-type: none"> ・心の発達 	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児の心の発達の特徴について理解できる。
	4. 幼児の生活習慣の習得について考えよう	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣の習得、社会的な生活習慣の習得、生活習慣の習得を支える家族 	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児の生活習慣の習得について理解できる。
	5. 幼児の生活と遊びを知ろう	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児の1日、幼児の生活と食事、幼児の生活と遊び ・遊び方の変化と遊びで育つ力 ・遊びを豊かにする物 ・【実習】幼児のおやつを作ろう 	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児にとっての遊びの意義について理解できる。 ・幼児の生活に関わるおやつを作る。
	6. 幼児との関わり方を考えよう	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児との触れ合い ・【実習】幼児と触れ合おう(保育園訪問) 	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児との触れ合いについて、自分の課題を設定できる。
	7. 幼児との関わり方についてまとめよう	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児との関わりを振り返って 	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児に合った接し方や遊びを工夫する。 ・幼児との触れ合い体験を振り返り、幼児の特徴や関わり方についてまとめる。
	8. 子どもにとっての家族を考えよう	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもと家族、家族との信頼関係 <p>【実習】家族の立場になって考えよう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもを育てる環境としての家族の役割を理解できる。

学習の進め方

I 学校での学習

- 学習課題(本時の目標)をしっかりとらえ、頭と体と心をしっかり使しましょう。
- 実習では、基礎的・基本的な技術の習得をめざし、何事にも丁寧に取り組みましょう。
- 実習では、目標と方法を理解し、安全面と衛生面に留意して取り組みましょう。
- 自分自身を見つめ、自分のことが自分でできるようになるよう、生活の自立をめざしましょう。
- 自分の周りの家族、地域、社会、環境などに興味や関心を持ちましょう。

II 家庭での学習

- 家族の一員として、いろいろな家庭での仕事に取り組みましょう。
- 授業で学習した内容を生活に取り入れ、実践しましょう。

第2学年 英語科 年間計画

学期	単元	学習内容	学習内容を通して身につけたい力
1 学期	◆Lesson 1 ◆Let's Talk 1 ◆Lesson 2 ◆Let's Listen 1 ◆Let's Talk 2 ◆Lesson 3 ◆Let's Listen 2 ◆Let's Talk 3	・1年生の復習(一般動詞の過去形) ・How can I get to…? ・be動詞の過去形(was, were) ・過去進行形 ・When節(～するとき) ・テレビニュースの聞き取り ・If節(もしも～ならば) ・未来形(will, be going to) ・接続詞(that) ・世界の天気予報 ・助動詞must	・一般動詞の過去形を理解し、使うことができる。 ・ハワイの伝統文化について知る。 ・交通手段をたずねたり、説明したりすることができる。 ・be動詞の過去形や過去進行形を理解し、使うことができる。 ・When節(～するとき)を理解し、使うことができる。 ・地球の歴史への関心を高める。 ・テレビニュースを聞き取り、聞く力を高める。 ・物事を仮定した表現ができる。 ・未来を表すwillやbe going toを理解し、使うことができる。 ・接続詞のthatを理解し、使うことができる。 ・自分や友達の前について話すことができる。 ・小笠原諸島の自然のすばらしさを理解することができる。 ・天気に関する単語を理解し、必要な情報を聞き取ることができる。 ・しなければならないこと、してはいけないことを説明することができる。
	◆Lesson 4 ◆Let's Listen 3 ◆Let's Talk 4 ◆Let's Read 1 ◆Lesson 5 ◆Let's Talk 5 ◆Lesson 6 ◆Let's Listen 5 ◆Let's Talk 6	・There is (are)…構文 ・動名詞(動詞ing形) ・観光案内 ・have to～(～しなければならない) ・A Pot of Poison(毒のつぼ) ・give + A + B ・look + A ・May I…?(～してもいいですか。) ・不定詞(to + 動詞の原形) →名詞的用法 →副詞的用法 →形容詞的用法 ・留守番電話のメッセージ ・Will you…?(～してくれませんか。)	・There is (are)…構文を理解し、使うことができる。 ・動名詞(動詞ing形)を理解し、使うことができる。 ・日本の各地域の食文化について関心を高める。 ・話し手が伝えたいことを聞き取ることができる。 ・have to～(～しなければならない)を理解し、使うことができる。 ・とんち話を味わって読むことができる。 ・登場人物らしく会話を音読することができる。 ・give + A + Bを理解し、使うことができる。 ・look + A を理解し、使うことができる。 ・旅の楽しさと、地域文化を尊重することについて考える。 ・May I…?(～してもいいですか。)を理解し、使うことができる。 ・不定詞(to + 動詞の原形)を理解し、使うことができる。 ・将来の夢や、やりたいことについてスピーチをすることができる。 ・他者の将来の夢を聞くことで、仲間のことについて理解を深める。 ・英語を通して、自分の生き方を見つめ直す。 ・話し手が伝えたいことを聞き取ることができる。 ・Will you…?(～してくれませんか。)を理解し、使うことができる。 ・電話でよく用いられる会話を、使うことができる。
2 学期	◆Lesson 7 ◆Let's Listen 6 ◆Lesson 8 ◆Let's Talk 7 ◆Let's Read 2	・比較級(‑er)、最上級(‑est) ・比較級(more)、最上級(most) ・同格(as ～ as) ・新作ロボットのプレゼンテーション ・受動態(be動詞 + 過去分詞) ・too…(～すぎる) ・Landmines and Aki Ra(地雷とアキラ)	・比較級(‑er)、最上級(‑est)を理解し、使うことができる。 ・比較級(more)、最上級(most)を理解し、使うことができる。 ・さまざまな視覚的表現について関心を高める。 ・効果的なプレゼンテーションについて、理解を深める。 ・話の全体的な内容を聞き取ることができる。 ・受動態(be動詞 + 過去分詞)を理解し、使うことができる。 ・多言語の国や人、言葉、社会の結びつきについて考える。 ・英語のメモに基づいて、行きたい国について紹介するスピーチをすることができる。 ・too…(～すぎる)を理解し、使うことができる。 ・買い物でよく用いられる会話を、使うことができる。 ・アキラさんの自伝を味わって読むことができる。 ・内容が伝わるように自伝を音読する。
3 学期	◆Lesson 7 ◆Let's Listen 6 ◆Lesson 8 ◆Let's Talk 7 ◆Let's Read 2	・比較級(‑er)、最上級(‑est) ・比較級(more)、最上級(most) ・同格(as ～ as) ・新作ロボットのプレゼンテーション ・受動態(be動詞 + 過去分詞) ・too…(～すぎる) ・Landmines and Aki Ra(地雷とアキラ)	・比較級(‑er)、最上級(‑est)を理解し、使うことができる。 ・比較級(more)、最上級(most)を理解し、使うことができる。 ・さまざまな視覚的表現について関心を高める。 ・効果的なプレゼンテーションについて、理解を深める。 ・話の全体的な内容を聞き取ることができる。 ・受動態(be動詞 + 過去分詞)を理解し、使うことができる。 ・多言語の国や人、言葉、社会の結びつきについて考える。 ・英語のメモに基づいて、行きたい国について紹介するスピーチをすることができる。 ・too…(～すぎる)を理解し、使うことができる。 ・買い物でよく用いられる会話を、使うことができる。 ・アキラさんの自伝を味わって読むことができる。 ・内容が伝わるように自伝を音読する。
通年	・新学習指導要領対応 中学校外国語教材 Bridgeを適宜利用する。 ・帰り学活前の10分間で、既習事項の確認を行い、基礎的事項の習熟を図る。		

学習の進め方

I 学校での学習

1. 本読み、単語読みなどをするときは、英語の発音、イントネーションに気をつけて大きな声でおこなう。
2. ペアワークなどの活動で英語を話す時は、積極的におこなう。指定された英語をしっかりと使う。
3. 授業での学習ポイントや、日本語訳をノートにきちんと写す。
4. 教師の発問をしっかりと考え、答える。
5. 「わからないところ」をわからないままにしておかないで、必ず質問をする。

II 家庭での学習

1. 復習を中心に学習する。 → その日の習ったことはその日のうちに理解する。
 - ・授業で習った単語や本文を音読したり、音読筆写で覚えられるように復習する。
 - ・ワークブックを使って、文法事項や重要表現を復習する。
2. 宿題(ノート作り)は必ず行う。予習として、単語・本文写しはしておくこと。
3. 毎日勉強する。(練習ノートを活用し、授業ノートの写し直し等に取り組むと良い。)